

EX STAGE“君の隣にいるヒーロー”

| 話者 | 台詞 / ト書き |
|--------|--|
| | ■渋谷 一街頭■ |
| キョータロー | よー、来たか 【ユーザー名】。 それに、いつかのガキも。 |
| セナ | ガキじゃない、セナだ。 こんな人通りの多い場所に 呼び出さないでよね、まったく。 |
| キョータロー | すっかり引きこもりだな。 それも、お前が新しくDLLした そのACTの影響かよ？ |
| セナ | こいつは関係ないよ。 どっちかといえば おにーさん達のせいかもねー。 |
| アナテマ | セナはかつての戦い以来 人ゴミが——公式のステージが 苦手になったのです。 |
| キョータロー | アナテマ……。 まさか、またお前と顔を 合わせる日が来るとはな。 |
| キョータロー | とはいえ、お前は俺の知ってる アナテマとは別物—— 記録から生まれたコピー、なんだろ？ |
| アナテマ | そうなります。 私も己の所業は、記録として 把握しております。 |
| アナテマ | セナに仕える私には、そのときの アナテマの行動は理解できませんし、 なぞろうとも思えませんが。 |
| キョータロー | ……それを信じろって言われてもな。 お前のおかげで、大事なACTを 失ったヤツだっているんだぞ。 |
| キョータロー | そこのガキだって、 個人的リベンジでお前を DLLしたんじゃないのか？ |
| セナ | 知るかよ。 勝手に出てきたから 使ってるだけだって。 |
| アナテマ | 私はマッチングに従ったのみ。 それ以外に事情はございません。 |
| カツマ | 少なくともそのアナテマに 特別な権限や力は無いっぼいよ、 キョータロー。 |
| セナ | ……誰だっけ。 カツマおに……おねーさん？ |
| カツマ | このカツコのときは おにーさんでいいよ、セナ。 おねーさんでも断らないけどね！ |
| キョータロー | よー、カツマ。 そっちでも答えは出たか？ |
| カツマ | うん。ラザロとクリア姫、 それにコウヘイも、アナテマの データを解析してみたいだよ。 |
| カツマ | 渋谷のセンサー建材にアクセスしたり オルタナステージに介入する能力は そのアナテマには、残ってないって。 |
| カツマ | 彼女がなにを覚えていて、 なにを考えているかは、 みんなにもわからないみたいだけどね。 |
| アナテマ | ……………。 |

| | |
|-----------|---|
| キョータロー | そーか……ったく、まさか戻ってくるのがコイツだとはな。 |
| キョータロー | ワリーけどよ、セナ。しばらくは俺も、お前らを見張らせてもらうぞ。 |
| セナ | はあ……好きにしてください。余計なことはしないでくれよ、アナテマ。 |
| セナ | 心得ております、私のセナ。 |
| キョータロー | んで、カツマ。今日はそれだけじゃないんだろ？ |
| カツマ | うん。この近くで【ユーザー名】に、調べてほしいポイントがあるんだ。 |
| カツマ | そのポイント付近で、多発してるんだよ。ACTが制御不能になる事件が。 |
| セナ | 制御不能って、アーダル症候群じゃないの？最近減ってるって聞いたよ。 |
| カツマ | アーダルはACTの使い手が発症する疾病だよ。でもこっちは違う。 |
| キョータロー | ああ、ACTが暴走しちゃうって話だもんな。不穏だな、アナテマさんよ。 |
| アナテマ | ……はい。私にも推察が不可能です、キョータロー。 |
| キョータロー | ホントかよ。推察ぐらいできそーなもんだよな、【ユーザー名】。 |
| カツマ | ちょっとキョータロー、ギスギスしすぎだよ？ほら、背中撫でてあげる。 |
| キョータロー | う、ワリーカツマ……。俺もまだまだモヤモヤしてるからな……。 |
| セナ | 男に撫でられて落ち着くなんてチョロいよね、おにーさんのメンタルも。 |
| カツマ | あはは。それはキョータローがチョロいんじゃないかと、僕がツボを心得てるだけかなー。 |
| カツマ | セナも辛いときは言ってよ。なんなら好みのカッコで可愛く癒やしてあげるからね。 |
| アナテマ | ……セナ、警戒を。 |
| キョータロー | そっちの選択肢が増えるのは悪いことじゃねーと思うけど、強要すんなよー、カツマ……。 |
| 男の声 | うわああっ！？おい、勝手に戦おうとするなー！ |
| キョータロー | 今の声は……！【ユーザー名】、カツマ！ |
| カツマ | うん、間違いない！行くよ、セナ！ |
| セナ | はいはい。行くよー、アナテマ様。 |
| アナテマ | 『様』は不要ですよ、私のセナ。 |
| | ■渋谷 -スペイン坂- |
| キョータローACT | やってやる……俺が。俺こそが、レイヤードのヒーローなんだ！ |
| キョータロー | おい、あれって、まさか……。 |
| カツマ | ……うん、キョータローだね。ACT化してるって話は聞いてたけど。 |

| | |
|-----------|---|
| キョータロー | よりによって、俺のACTが 暴走してんのかよッ！？ |
| 男子学生 | だ、誰か助けてくれえっ！ 俺の、俺のキョータローが、 俺のオタク系ヒーローがいきなり……！ |
| 男子学生 | って、あれ？ そっちもキョータローACT！？ |
| セナ | 本物だよー。 本物のオタクの味方、 キョータローおにーさんでーす。 |
| キョータローACT | 【ユーザー名】…… 親友のお前を倒してでも、 俺は俺の道を行く！ |
| キョータロー | ギャー！ やめろやめろ、やめさせてくれ！ 俺の未熟な黒歴史を晒さないでー！ |
| カツマ | 暴走っていうか、過去の再現な 気がするけれど……。 |
| アナテマ | ……なにかACTを刺激している ノイズが発生しているのは事実ですね。 私もザワザワします。 |
| セナ | じゃあ、やっぱりこれって レイヤードの異状なの？ |
| アナテマ | はい、情報処理が不安定で、 解析できません。 まるで――。 |
| アナテマ | ――そう、まるで。 小さな特異点が、 この地点に刻まれているかのよう。 |
| セナ | 『小さな特異点』……。 |
| キョータローACT | 見つけたぞ、 【ユーザー名】！ 戦え、俺のライバルとして！ |
| キョータロー | ち、ちくしょー！ 【ユーザー名】、 荒ぶる俺を鎮めてやってくれー！ |

| 話者 | 台詞 / ト書き |
|-----------|---|
| | //キョータローACTとバトル |
| キョータローACT | ざわつくんだよ……。 ざわついて、胸が熱くなる……。 |
| キョータローACT | このざわつきを抑えるためには、 【ユーザー名】、 お前と戦うしかないんだ！ |
| | //バトル終了 |

| 話者 | 台詞 / ト書き |
|---------|---|
| | ■渋谷 -スペイン坂- |
| キョータロー | よっしゃ、いつも通りに快勝だな 【ユーザー名】! |
| キョータロー | ……ってやっぱつれーよ、 自分が負けるのはともかく、 自分の顔したACTが負けんの! |
| セナ | ACTにも負けグセ ついてんじゃないの、 キョータローおにーさん。 |
| キョータロー | お前に言われたくねーよ! コウモリみてーに あっちこっちつきやがって――。 |
| カツマ | 【ユーザー名】! ウィークAIが生き残ってる、 場外に落ちてったよ! |
| キョータロー | なにッ!? |
| 女の子 | きゃ、きゃああああつ!? |
| 女の子のACT | ……!! |
| セナ | アナテマ、お前が近い! 行けッ! |
| アナテマ | 了解です、セナ! |
| セナ | 間に合ったか…… ふー、よくやったよアナテマ。 |
| アナテマ | いえ、命令です。 |
| 女の子 | あ、ありがとう、 おにいちゃん……。 |
| セナ | いーよいーよ。 そっちのおにーさん達の 不始末だから。 |
| キョータロー | ……………。 |
| キョータロー | ……お前、 あの子も、あの子のACTも 咄嗟に守ろうとしたな。 |
| キョータロー | ACTはちょっとしたダメージを 受けよーがすぐに回復する。 なんであんな必死に守った? |
| セナ | 別に、 間に合ったからやっただけ。 それに――。 |
| カツマ | それに? |

| | |
|-----------|--|
| セナ | ……目の前で好きなACTが 傷ついたら、子どもは ずっと傷ついたままじゃん。 |
| カツマ | ……へえ。 子どもの味方なんだね、セナは。 |
| セナ | そーいうんじゃないって。 たまたま近かったら、 なんとなく――。 |
| キョータロー | ……大丈夫だな、お前は。 |
| セナ | は、はあ？ |
| キョータロー | アナテマはともかく。 そのカンジでACT使ってるなら、 お前は大丈夫だ！ 許す！ |
| セナ | ……勝手にわかれた 感じになんのって すごいキモいんですけど。 |
| キョータローACT | ああ、大丈夫だ。 こういうガキがいる限り、 レイヤードは安心だな、俺。 |
| キョータロー | わかるか、俺。 俺も成長したじゃねーか！ |
| セナ | なに自分同士で納得してんだよ！ そもそもACTのほうは 暴走してただろ！ |
| 男子学生 | あの一、そもそもそれ、 僕のACTなんですけど……。 |
| カツマ | ……うん。 彼女が、君にDLされたことには 意味があるのかもしれない。 |
| カツマ | そして彼が君の 前に現れたことにも……。 ね、【ユーザー名】。 |
| セナ | な、なんなんだよ……。 【ユーザー名】、 こいつらの変な解釈を止めてよ！ |
| | //選択肢 A かつこ良かったよ、セナ B よろしく、助手さん |
| 選択肢A | かつこ良かったよ、セナ |
| セナ | ……なんすか。 なんなんですか、それ。 誉め殺していずれ叩く気！？ |
| アナテマ | セナ、ここはシンプルに 誉め言葉と受け取っても よろしいかと。 |
| 選択肢B | よろしく、助手さん |
| セナ | ……もしかしてこれから 僕をこき使う気でしょ？ そうはいかないからな！ |
| アナテマ | ただの友好的な挨拶かと 思いますよ、私のセナ。 |
| 合流 | |
| キョータロー | しかしんなことより、 ACTの俺はなんで あんなにイキりたってたんだ？ |
| カツマ | なにか覚えてる？ ACTのキョータロー。 |
| キョータローACT | ……わかんねー。 いや、わかる気がするが、 説明できねーんだ。 |

| | |
|-----------|--|
| キョータロー | 説明できない……？ |
| キョータローACT | ……自分を揺さぶられる 言葉を聞いた気がする。 途端に、理性を保てなくなった。 |
| キョータローACT | 【ユーザー名】…… なにがなんでも、お前と会って 戦わなきゃいけない気がした。 |
| セナ | 理由になってないじゃん。 アナテマが言ったみたいに、 なんか異状が起こってんじゃないの？ |
| キョータロー | ……かもな。 レイヤードに新しい異変の兆候、か。 |
| カツマ | 不穏だね…… また戦うことになるのかな、 僕達も。 |
| キョータロー | そのときはそんなときだ。 また立ち上がるだけだよな、 【ユーザー名】。 |
| キョータロー | つーわけでお前も手伝えよ、 俺のACT！ |
| キョータローACT | トーゼンだろ。 俺だってレイヤードを守った 英雄のひとりなんだからよ。 |
| キョータローACT | お前らもコイツらに 手を貸してやってくれよな、 セナ、アナテマ！ |
| セナ | ……だってさ、アナテマ。 この人達、お前がラスボスだったこと 忘れてんじゃない？ |
| アナテマ | ええ、セナ。 気楽なものですね、彼らは。 |
| セナ | ホントだよ。 あんな気楽には生きられないよな、 僕らはさあ……。 |
| キョータロー | さあて、ひと段落したし 飯でも食って帰るか、 【ユーザー名】ー。 |
| キョータローACT | 迷惑かけちまったし、 ここは俺がおごるぞー。 |
| 男性学生 | あのー…… 僕のなんですけど……。 |